

高次脳機能検査

失認

物体認知障害		
視覚失認	患者が熟知している種々の日用品を示して、その名称や用途を答えさせる	
触覚失認	閉眼させ、鍵、コイン、ボタンなどの日用品を握らせて、その物品名や用途を答えさせる	
聴覚失認	閉眼させ、目覚まし時計のベルの音などの日常慣れた音を聞かせ、それが何の音か答えさせる。左右の耳を別々に検査。音の聞こえる方向も検査	
身体認知障害		
手指失認	検者が命じた手指を示すようにさせる	
身体部位失認	検者が命じた部位（鼻、眼、口、耳など）を示すようにさせる	
左右失認	検者が左上肢をあげるように命ずる	
半側身体失認	自分の半身の存在を無視したり、使わなかったりするため、ぶついたり、置き忘れたりするので観察	
病態失認	麻痺の存在を否定したり、入院の理由がわからなかったり、病識の欠如をする	
Gerstomann 症候群	手指失認、左右失認、失書（自分で書字したり、書き取りができない）、失算（暗算や筆算ができない）の 4 つの症状を伴う	
空間認知障害		
視覚性空間定位障害	患者に何か物品を示して、その位置を確認させた後、閉眼させその物品があると思われる方向を示させる	
半側空間無視	線分 2 等分テスト	
	線分抹消テスト	
	図形模写	
	横書き文の読み	
地誌的障害	地誌的見当識障害：自分の家などよく知っている場所への道順がわからない	
	地誌的記銘力障害：地図状で有名な都市の位置がわからない	

失行

手指失行	指先の巧緻運動が困難になる状態。指を机の上でピアノを叩くように順次屈曲させる運動を模倣。ボタンをはめる動作、鉛筆で字や絵を書く動作	
------	---	--

顔面失行	自分ではするが、検者の指示に応じて笑ったり、眼を閉じたり、舌を出したりできない	
観念運動失行	ジャンケンの手つきをさせたり、下肢で円や四角を描くようにさせたり、手で耳に触れるように指示する	
観念失行	ペンを持って、何か書いてもらう	
構成失行	紙に△、□、○などの簡単な形や家などの絵を描かせる。マッチ棒で△、□などの図形を作らせる	
着衣失行	患者の着衣を脱いだり着たりするように指示し、動作をみる	

失語

自発言語	名前、住所、生年月日を言わせる	
自発書字	名前、住所、生年月日などを書かせる。漢字より仮名の障害が目立つ	
物品呼称	腕時計、ペン、歯ブラシ、ティッシュなどを見せ、名前を言ってもらう	
復 唱	「ア」、「エ」、「やかだにあ」、「16」「バナナ」、「今日は暑い」など、単語、無意味語、数字、簡単な文章を復唱してもらう	
指示動作の遂行	「眼を閉じてください」、「口を開けてください」、「左手で右の耳をつかんで下さい」などの指示し、動作を行ってもらう	
音 読	「山」、「川」、「海」、「はな」、「夏は雪が降る」と書いた紙をみせ、読んでもらう	

運動維持困難 (motor impersistence)

〔方法〕：閉眼、挺舌を同時に行わせ 20 秒保持できるか。保持できなければ症状ありとする。

注意障害

持続性の検査	仮名ひろいテスト：「あいうえお」だけに印。2 分間の正答数・正答率を評価	
選択性の検査	ト、ド、ポ、コ、ドの 5 種類の語音を 1 音／秒でランダムに提示する。トに対してタッピングなどによる反応を求める	
配分性の検査	数唱。順唱は 6 桁以上が正常、3 桁以下が異常。逆唱は順唱より 3 桁以上少ない場合、異常とする	
転導性の検査	末梢課題の変法。16 行、36 文字のカタカナ・ひらがながランダムに配置された用紙を用いる。ひらがなのみを抹消させる	